



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月30日

上場会社名 菊水ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6912 URL <https://kikusui-holdings.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 小林 一夫  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長(氏名) 齋藤 士郎 TEL 045-482-6912  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	9,360	8.3	1,380	16.9	1,498	19.5	997	20.9
2024年3月期第3四半期	8,646	2.4	1,181	22.9	1,254	27.1	824	24.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 742百万円(△17.5%) 2024年3月期第3四半期 899百万円(9.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	120.15	—
2024年3月期第3四半期	98.41	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	16,698	13,664	81.8
2024年3月期	16,108	13,285	82.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 13,664百万円 2024年3月期 13,285百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	47.00	47.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	47.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	2.5	1,930	4.1	1,980	3.2	1,310	0.7	157.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	9,900,000株	2024年3月期	9,900,000株
2025年3月期3Q	1,590,719株	2024年3月期	1,608,902株
2025年3月期3Q	8,302,008株	2024年3月期3Q	8,382,216株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲の重要な変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善し、個人消費等一部に足跡が残るものの、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、ウクライナや中東地域を巡る情勢不安、エネルギー価格及び原材料価格の高止まり、更に円安基調による物価上昇に加え、欧米における高い金利水準の継続、米国の今後の政策動向や中国経済の停滞など、海外景気の下振れリスク等の要因により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する電気計測器業界においては、世界各国でのカーボンニュートラル、SDGs達成に向けた取り組み等により、自動車関連市場や電池関連市場等において、また、AI(人工知能)の需要拡大に伴い、半導体関連市場やデータサーバー関連市場等において設備投資の拡大が期待されておりますが、欧米における高い金利水準及び中国の市況低迷により、設備投資抑制の影響を受けております。

このような状況の中、当社グループは、グローバル需要を捉えるべく、重点市場である航空宇宙、電池、自動車のCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)、サーバー・ICT(情報通信技術)関連市場、その中でも特にカーボンニュートラルや電動化を進めている分野に注力し、顧客ニーズに合わせたソリューション提案営業を積極的に展開し、展示会への出展やWebを活用した販売促進活動等を進めるなど売上拡大に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、海外市場の設備投資抑制の影響があったものの、国内市場のGX(グリーントランスフォーメーション)関連市場、自動車関連市場及び半導体関連市場等の設備投資需要を取り込んだことにより、93億6千万円(前年同期比8.3%増)となりました。

損益面におきましては、ベースアップ等により人件費が増加したものの売上増加に伴い固定費の回収が進んだことなどにより、営業利益13億8千万円(前年同期比16.9%増)、経常利益14億9千8百万円(前年同期比19.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益9億9千7百万円(前年同期比20.9%増)となりました。

当社グループは、電気計測器等の製造、販売を行っているものであり、セグメントは単一であります。したがって、セグメントごとに経営成績の状況は開示しておりません。

なお、当社グループにおける営業品目の製品群別売上の概況は、次のとおりであります。

#### 《電子計測器群》

電子計測器群では、航空機器用電子機器の測定器は、好調に推移し、前年同期を大きく上回りました。安全関連試験機器は、EV(電気自動車)用バッテリーの耐電圧・絶縁抵抗試験用として電池関連市場向けに好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は23億6千8百万円(前年同期比24.6%増)となりました。

#### 《電源機器群》

電源機器群では、直流電源は、宇宙産業市場、車載関連市場、エネルギー関連市場及び半導体関連市場への評価試験や製造設備用として好調に推移いたしました。交流電源は、車載関連市場及びエネルギー関連市場への評価試験や製造設備用として動きが見られましたが、米国におけるエネルギー関連市場の設備投資抑制の影響等により全体としては厳しい状況で推移いたしました。電子負荷装置は、エネルギー関連市場及びAIデータサーバー関連市場への評価試験用として好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は65億7千9百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

#### 《修理・校正サービス等》

修理・校正サービス等につきましては、特記すべき事項はありません。

当該修理・校正サービス等の売上高は、4億1千2百万円(前年同期比15.1%増)となりました。

上記に含まれる海外市場の売上の概況は以下のとおりであります。

#### 《海外市場》

米国では、宇宙産業市場及びAI関連市場への直流電源や電子負荷装置に動きが見られましたが、エネルギー関連市場やEV関連市場の設備投資抑制の影響により低調に推移いたしました。

欧州では、エネルギー関連市場及び航空宇宙関連市場への交流電源に動きがありました。

アジアにおいては、中国では、電池関連市場への安全関連試験器が好調に推移いたしました。また、韓国では、車載関連市場への直流電源や電子負荷装置が低調に推移し、東南アジアでは、IT(情報技術)関連市場への交流電源に動きが見られましたが、全体的には低調に推移いたしました。

以上の結果、海外売上高は34億1千4百万円(前年同期比17.2%減)となりました。

#### (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間における総資産は、受取手形及び売掛金の減少や投資有価証券の第3四半期期末時価の下落により減少したものの、受取手形及び売掛金、電子記録債権の回収等による現金及び預金の増加のほか、生産活動等により仕掛品が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億8千9百万円増加し、166億9千8百万円となりました。

負債は、未払消費税等の納税、役員賞与の支給による役員賞与引当金の減少及び投資有価証券の第3四半期期末時価の下落により繰延税金負債が減少したものの、棚卸資産の増加等による支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2億1千万円増加し、30億3千4百万円となりました。

純資産は、配当の実施による利益剰余金の減少及び投資有価証券の第3四半期期末時価の下落によりその他有価証券評価差額金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ3億7千8百万円増加し、136億6千4百万円となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の予想につきましては、本資料の公表時点において、2024年5月15日に「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

今後、業績予想において修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,193,699	4,323,992
受取手形及び売掛金	2,386,047	1,712,151
電子記録債権	803,825	841,495
商品及び製品	1,017,091	1,211,648
仕掛品	527,309	950,692
原材料及び貯蔵品	1,765,307	1,764,203
未収還付法人税等	31,505	—
未収消費税等	53,054	32,526
その他	145,118	166,904
流動資産合計	9,922,961	11,003,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	438,156	417,947
土地	1,454,495	1,454,495
その他(純額)	446,660	467,416
有形固定資産合計	2,339,312	2,339,858
無形固定資産		
投資その他の資産	66,148	56,539
投資有価証券	2,562,142	2,090,493
その他	1,220,381	1,210,224
貸倒引当金	△2,015	△2,015
投資その他の資産合計	3,780,508	3,298,702
固定資産合計	6,185,969	5,695,100
資産合計	16,108,930	16,698,715
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	583,547	1,122,969
未払法人税等	211,474	271,340
賞与引当金	341,299	306,574
役員賞与引当金	97,300	—
製品保証引当金	7,815	10,347
その他	624,236	502,973
流動負債合計	1,865,673	2,214,205
固定負債		
退職給付に係る負債	30,246	16,468
その他	927,211	803,358
固定負債合計	957,457	819,827
負債合計	2,823,131	3,034,033

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,201,250	2,201,250
資本剰余金	2,815,369	2,831,425
利益剰余金	7,554,182	8,161,963
自己株式	△887,442	△877,405
株主資本合計	11,683,360	12,317,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,293,957	994,228
為替換算調整勘定	249,587	304,099
退職給付に係る調整累計額	58,893	49,120
その他の包括利益累計額合計	1,602,439	1,347,448
純資産合計	13,285,799	13,664,682
負債純資産合計	16,108,930	16,698,715

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	8,646,462	9,360,679
売上原価	4,011,202	4,422,108
売上総利益	4,635,259	4,938,571
販売費及び一般管理費	3,454,131	3,558,247
営業利益	1,181,128	1,380,323
営業外収益		
受取利息	1,269	2,167
受取配当金	108,692	122,462
その他	15,276	12,800
営業外収益合計	125,238	137,430
営業外費用		
支払利息	3,029	3,398
為替差損	47,531	13,643
その他	1,737	2,688
営業外費用合計	52,297	19,730
経常利益	1,254,069	1,498,024
税金等調整前四半期純利益	1,254,069	1,498,024
法人税等	429,209	500,561
四半期純利益	824,860	997,462
親会社株主に帰属する四半期純利益	824,860	997,462



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	824,860	997,462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,544	△299,728
為替換算調整勘定	37,529	54,511
退職給付に係る調整額	△2,941	△9,773
その他の包括利益合計	75,133	△254,990
四半期包括利益	899,993	742,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	899,993	742,472
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性に欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、電気計測器等の製造、販売を行っているものであり、セグメントは単一であるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	200,326千円	205,947千円